

ボランティアだより 2024・3月 185号

ふれあいひろば

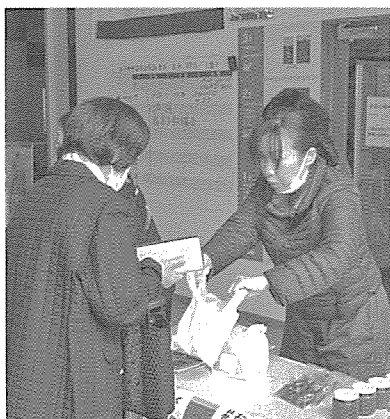
松川町社会福祉協議会 Tel. 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。

第41回 福祉を考える集会 開催される

2月17日(土) 於 えみりあホール

“みんないっしょになかよく～これも地域共生社会?～”



第41回 福祉を考える集会が、2月17日(土)に松川町公民館えみりあホールで開かれました。

今回は、『みんないっしょに なかよく～これも地域共生社会?～』をテーマに事例発表と参加された皆さんが8グループに分かれての話し合いが行われました。事例発表の中には、北小学校の代表委員会による、ペットボトルキャップ集めをした時の感想が映像で報告されました。大変だったけど、北小だけで18本のワクチンを作ることが出来たり、環境に良いというのが一番いいので、自然に優しい松川町になったらいいと思います。との児童の声に、参加されていた皆さんがうなずいていました。

後半の話し合いでは、ボランティアグループの高齢化や後継者問題、2.39石けん作り用の廃油不足についてや、元気センターについても意見交換がされていました。

多くの皆さんにご参加頂き、ありがとうございました。

松川町福祉を考える会 会長 原 節子

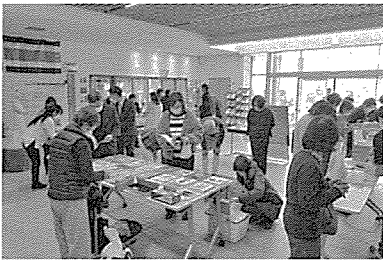
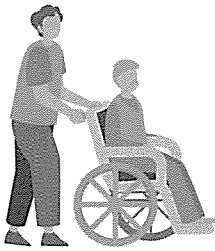
ミニミニたんぽぽの会

宮下美紀子

私は今年度からミニミニたんぽぽの会の代表を務めさせて頂く様になり、今回初めて福祉を考える集会に参加させて頂きました。

息子が障がいを持って生まれてきた事でミニミニたんぽぽの会やおもちゃ図書館という存在を知り、参加し、色々とお話を聞きました。またその活動から、福祉やボランティア活動に自然と参加する事が出来、色々な体験や出会いがありました。

福祉やボランティアと言うと、身構えてしまうけれど、自分の出来る範囲で、楽しく活動していきたいと、集会に参加し改めて思いました。



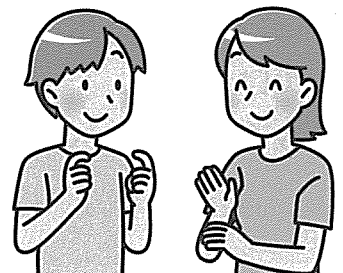
久々に皆が顔を合わせて、福祉を考える集会が行われました。テーマ「みんないっしょに なかよく」の下に作られた資料には、皆さんの活動や思いが詰まっています。どなたも目にするの良いなと思う資料です。当日の事例発表では、「私達にできる小さな活動」ということで北小の子どもさん達の活動や、こども福祉教室「あいむ」の子どもさんの活動に心強く思いました。

又それぞれ皆さんが世代を越えて、支え手となったり心をふくらませて活動し過ぎておられる事がわかりました。どの事も広がって行って欲しい事ばかりと思いました。

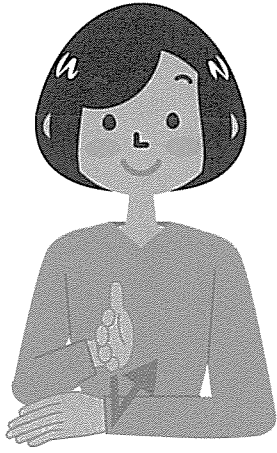
発表されなくても、資料の中に皆様の心温まる活動が載っています。この集会に更に多くの方が参加し、町民の皆が更に手をつなぐ様な心になっていけたらと思います。



今回の集会の資料の表紙です。社協で資料をお渡ししていますので、ぜひお声がけください。



ご参加いただいた皆様の感想



ありがとう

小学生に福祉の心が芽ばえており、うれしい事だ

手話でつながる…
まずは知る事。これが一番大事な事だと思う、でもむずかしい…。
使っていないと忘れちゃう

みんないっしょに仲良くが
共生社会実現の基本です
町民皆が、その意識を持てる
よう広報が必要と思います

まずは自分のまわりの人たちを
大切にかかわりを深めていく

自分から声をかけて話しを
聞かせて頂くこと

手話を覚えて行動できることは
すばらしいこと

ボランティアは「できる人が
できる事をできる時に」

サロンがあり、時々集まって老化防止の役割を
担っていると思う。連絡係が必要だが…これも
ボランティア？

おせっかいおばちゃんに自分も
なっていきたいと思いました

自分の自治会ではサロンが
休会中。人と会って話す事
は大事な事。何か始められたら
いいなあ

何かとやたらに声かけできない
世の中になっているが、
ちょっとしたきっかけから
つながりができていくと思う

子供たちが、いろんな事に
かかわる事で、いろんな気付き
を实践していくことは大切だ



～ 108 名の方がご参加くださいました～

傾聴ボランティア

たんぽぽの会

町民お一人お一人の善意の「一円募金」より私たちが「たんぽぽの会」にタブレット一台のご支援をいただきました。

紙面をもって御礼申し上げます。

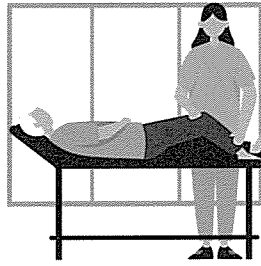
ありがとうございます。

二月五日月曜日、大雪の日、Aさんのお宅をお尋ねした際、庭のさざんかの葉っぱに積もった雪をタブレットで写真を撮りパチリ!!

撮影した写真を拡大し、見ていただくとAさんは食い入るように見つめ「雪かなあーお積もつとるなあー寒いなあー」と。

驚きの言葉を連発。

私たちが「お話し相手ボランティア」たんぽぽの会ではお身体がご不自由な方、日中独居の方、施設入所の方々のお話をお聴きする活動をしています。外出する事が極めて難しいまた視力が弱い方々に、季節を感じる風物や家族の農作業の様子などを、写真でお見せできればAさんのように、見て感じて、お話の輪が広がって楽しく、生き生きとお話できる一助になれば、うれしいことです。



ほーい元気？！

節分も過ぎて、陽射しも濃くなり、光の春という言葉どおり、窓越しには、ずい分暖かくなった。

節分といえば、思い出す事があります。

息子が保育園の頃。ゆり組さんが、紙袋に毛糸を毛にしてくっつけ、目と耳に穴をあけ、顔を描いてお面を作り鬼になってみんなで豆まきをしたようでした。

その日のお昼寝のこと。お隣でふとんに入っていた子が、息子の耳に豆まきの煎った大豆がある事に気づき、指でホジホジして取ろうとしているうちに、穴の方に行ってしまう取れなくなり、先生に言うてようやく取る事ができたらしいのです。その騒ぎの中、当の息子は、豆まきの疲れかぐっすり寝ていたそうです。そんな事はるか昔。今では、いい年のおっさんになりました。

そう言えば、豆まきしようと思ったら豆が、節分すぎから出て来ました。しまった!!

今年は豆まき忘れた。厄除けのお詣りと、患方巻きだけは、しっかり食べたんですけどね。

佐々木孝子

